

第2回夕張市総合戦略検証委員会の結果等について

1 日時及び場所 平成29年9月21日(木) 18:00~19:30 夕張市役所第1会議室

2 検証結果

夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略(以下「総合戦略」という。)登載事業の進捗状況、課題等について、検証委員会において市各課担当からの説明を聴取し、確認した。

大部分の事業について着手済み又は進行中であることから、引き続き円滑に推進を図られることを期待するが、課題と思われる点について指摘を行った。

3 指摘に対する応答概要等

・戦略1:若者の定住と子育て支援「①若年層・女性向け低家賃賃貸住宅の整備」について

委員発言:需要が高い事業であるため、より早期に着工すべき。

市応答:整備候補地選定との兼ね合いもあるが、できる限り早期の着工ができるよう検討している。

・戦略2:新たな人の流れ・交流人口の創出「⑤廃校や空き店舗を活用した起業支援」について

委員発言:空き店舗の活用に関して商工会議所との連携を検討すべき。

市応答:商工会議所と連携して空き店舗の調査や商店主の事業予定調査を行った上で、起業希望者への紹介事業等を行い、起業者と空き店舗と人をつなぐ等支援できないか検討していく。

・戦略3:地域資源を活用した働く場づくり「②農業者、農協、市の連携による産地力強化」について

委員発言:加工用メロンの収益性を向上すべき。

市応答:加工用メロンの需要は高いため、栽培用資材への補助等を通じて加工用メロンの安定供給ができる体制を整え、市場単価の向上を目指していく。

・戦略4:夕張の未来を創るプロジェクト「④ITを活用した既存産業の付加価値化・人材育成」について

委員発言:北海道ガス株式会社とのスマートコミュニティに係る連携等、先進的な取り組みに期待している。

市応答:コンパクトシティゆうばりの推進と併せて、市民が快適に暮らせる環境の整備について北海道ガス株式会社と研究していく。

・検証委員会を総括して

委員発言:重要な事業を担当している課には、手厚く人員を配置するなど、円滑に事業を推進するための措置が必要。

委員発言:総合戦略登載事業ごとの予算、決算等を指標として進捗を客観的に検証することとすべき。